

この研修プログラムは、「病いや老いなどにより、人が人生を終える時期に必要とされるケア」について学びます。エンド・オブ・ライフにある高齢者ケアについて9つのモジュールを通して包括的に学ぶことができます。「高齢者の尊厳保持」「高齢者の意思の尊重」「緩和ケアの提供」「望ましい死に向けた調整」を基本に、講義を基にロールプレイや事例検討を行い、学びを深めていきます。

#### <モジュール 1. エンド・オブ・ライフ・ケアにおける看護>

- ◆エンド・オブ・ライフ・ケアの基本的な考え方と、老化の延長線上にある死について理解する
- ◆エンド・オブ・ライフにある高齢者へケアを提供するために、多職種チームの一員として看護職が果たすべき役割や基本的態度について理解する

#### <モジュール 2. 症状マネジメント>

- ◆エンド・オブ・ライフにある高齢者によく起こる症状と、それらの症状マネジメントを行う際の看護職の役割について理解する

#### <モジュール 3. 痛みのマネジメント>

- ◆エンド・オブ・ライフにある高齢者に起こりやすい痛みに焦点をあて、高齢者の痛みのアセスメントとマネジメントから看護師の役割について考える

#### <モジュール 4. エンド・オブ・ライフ・ケアにおける倫理的問題>

- ◆エンド・オブ・ライフにある高齢者に倫理的問題が起こりやすい背景を理解し、問題に気づく力を養う
- ◆高齢者の意思に焦点をあて、看護倫理に基づくケアの実践と、擁護者としての看護職の役割について理解する

#### <モジュール 5. エンド・オブ・ライフ・ケアにおける文化への配慮>

- ◆エンド・オブ・ライフ・ケアに影響を及ぼす文化的側面について概観する
- ◆高齢者・家族、および医療・介護スタッフ間のコミュニケーションをはかり、文化に配慮したケアを行うために重要となる文化的側面のアセスメントについて理解する

#### <モジュール 6. コミュニケーション>

- ◆エンド・オブ・ライフにある高齢者の意思を支えるために必要なコミュニケーションについて理解する
- ◆高齢者・家族と医療・介護スタッフ、多職種チーム内でのコミュニケーションにおける看護職の役割について理解する

#### <モジュール 7. 喪失・悲嘆・死別>

- ◆喪失・悲嘆・死別について理解を深める
- ◆”老い”による喪失・悲嘆について理解する
- ◆家族が体験する喪失・悲嘆・死別について学ぶとともに、医療・介護スタッフ自身の悲嘆についても考える

#### <モジュール 8. 臨死期のケア>

- ◆死にゆく高齢者とその家族のケアに焦点をあて、人生を完成する時期に最善のケアを提供するために必要なことについて理解する

#### <モジュール 9. 質の高いエンド・オブ・ライフ・ケアの達成>

- ◆質の高いエンド・オブ・ライフ・ケアを達成するために、一人ひとりの看護職がケア現場で果たす役割について理解し、そのために何ができるのか考える

研修に参加し、一人の人としての最期に何が必要で何ができるのか考え、仕事ができるようになりたいと思った。